

令和7年度 森林環境緊急保全対策事業の概要【当初】



やまがた緑環境税

やまがた緑環境税活用事業 628,444千円（うちやまがた緑環境税 528,710千円）

① 荒廃森林緊急整備事業

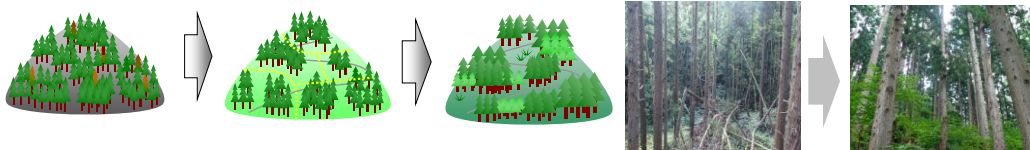
（1,160ha 577,373千円 うちやまがた緑環境税 477,639千円）

□ 人工林整備 事業量 852ha 382,171千円（うちやまがた緑環境税 282,437千円）

手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備

○ 針葉樹林維持型

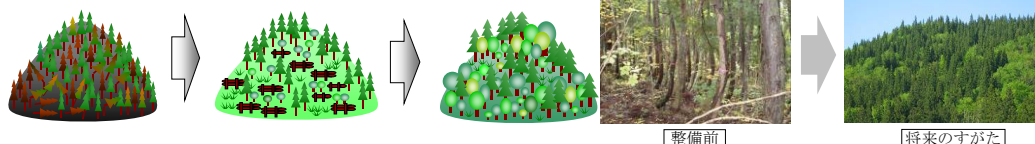
人工林を適正に維持、管理するための間伐や森林作業道の設置等を行う



～多様な樹齢からなる森林が面的に配備され、公益的機能が持続的に発揮される森林へ～

○ 針広混交林型

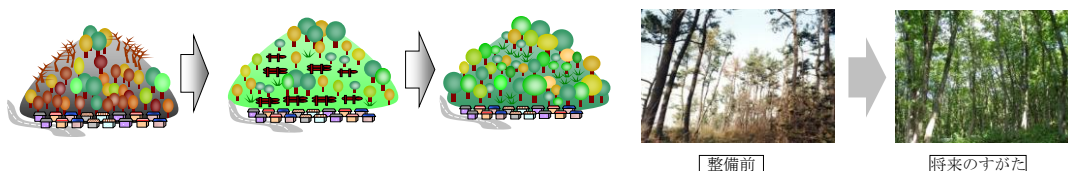
広葉樹との混交の促進を図る強度間伐等を行う



～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林へ～

□ 里山林整備 事業量 308ha 195,202千円（うちやまがた緑環境税 195,202千円）

病虫害等被害で活力が低下した里山林の再生。被害木の伐採や補植等



～多様な樹種や年齢で構成する緑豊かな明るい里山林へ～

② 森林資源の循環利用の促進

（51,071千円 うちやまがた緑環境税 51,071千円）

◆ 森林資源再生事業 135ha

（24,371千円うちやまがた緑環境税 24,371千円）

森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的に発揮する仕組みを構築するために、再造林に要する経費の一部を支援する



◆ 森林資源循環利用促進事業 50,000m³

（25,900千円うちやまがた緑環境税 25,900千円）

間伐材等を、ラミナ(集成材)、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料等として利用するための搬出等を支援し、環境保全に配慮した木材の利用促進を図る



◆ 広葉樹林健全化促進事業 800m³

（800千円うちやまがた緑環境税 800千円）

ナラ枯れ被害木を含むナラ林等を伐採し、チップ等への活用併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出及び作業道の設置を支援する

